

水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

コスモシリコン

COSMO SILICONE

水性反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料

コスモレタン

COSMO RETAN

環境改善提案塗料

JIS A 6909 複層塗材 RE 適応上塗材
可とう形改修塗材 E・RE 適応上塗材

<<< 水性反応硬化技術 >>>



- | | | |
|----|----------------|---------------------------------|
| 特長 | 1 高耐候 | 強靱な架橋塗膜の形成により、耐候性と耐汚染性を向上させました。 |
| 特長 | 2 防カビ・防藻 | 建物の美観と清潔さを保ちます。 |
| 特長 | 3 低臭・安全（水性・無鉛） | シンナーを使用しませんので、低臭で非危険物です。 |

水性反応硬化形アクリルシリコン樹脂塗料

コスモシリコン

COSMO SILICONE
特長
COSMO RETAN

特長

高耐候

特長

防カビ・防藻

特長

低臭・安全(水性・無鉛)

塗膜性能

コスモシリコン

試験項目		試験条件	コスモシリコン
初期性能	光 沢	60°鏡面光沢度	85
	付 着 性	1mm巾 10×10 ゴバン目	100/100
	耐 衝 撃 性	Φ1/2インチ×300g×50cm	異常なし
	伸び率(%)	フリー塗膜	140
耐久性能	耐アルカリ性	23℃・水酸化カルシウム飽和水溶液・18時間浸漬	異常なし
	耐 水 性	23℃ 96時間浸漬	異常なし
	促進耐候性	キセノンランプ法 2500時間 光沢保持率80%以上	合格
	温冷繰り返しサイクル試験	ホールド工法システム $\left(\begin{array}{l} 23^{\circ}\text{C} \text{ 上水浸漬 18時間} \\ \rightarrow 20^{\circ}\text{C} \text{ の気中 3時間} \\ \rightarrow 50^{\circ}\text{C} \text{ の気中 3時間} \end{array} \right)$ 10サイクル	異常なし

荷姿	4kg・15kg	色	白および各色	艶	艶有り
----	----------	---	--------	---	-----

塗り替えの場合：JIS A 6909 可とう形改修塗材E 適合仕様

コンクリート・モルタル系素地

アレスホールド工法（アクリルシリコン樹脂塗料仕上げ）

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1 素地調整	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ・ワイヤーブラシ）で除去し、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2 下塗り	アレスホルダーHG	0.3～1.5	8時間以上 7日以内	ローラー エアレス	1～10 7～15
3 上塗り (1回目)	コスモシリコン 上水	0.13 0.16	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	3～8 3～8
4 上塗り (2回目)	コスモシリコン 上水	0.13 0.16	—	ローラー エアレス	3～8 3～8

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
※塗替えて下地が脆弱な場合、吸込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。

アレスホールド工法（アクリルウレタン樹脂塗料仕上げ）

工 程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	希釈率 (%)
1 素地調整	クラック、鉄筋の露出、漏水などの部分に適切な処置を施す。劣化塗膜をケレン工具（皮スキ・ワイヤーブラシ）で除去し、汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2 下塗り	アレスホルダーHG	0.3～1.5	8時間以上 7日以内	ローラー エアレス	1～10 7～15
3 上塗り (1回目)	コスモレタン 上水	0.13 0.16	2時間以上 7日以内	ローラー エアレス	3～12 7～10
4 上塗り (2回目)	コスモレタン 上水	0.13 0.16	—	ローラー エアレス	3～12 7～10

※標準所要量は、被塗物の形状や下地の状態、塗装方法、環境などによって増減することがあります。
※塗替えて下地が脆弱な場合、吸込みが大きい場合、下地補修部にはシーラーを塗装してください。

施工上の注意事項

- ①気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- ②素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下（ケット科学社製CH-2）、または5%以下（ケット科学社製HI-500シリーズ：コンクリートレンジ）の条件で塗装してください。
- ③塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等でせい弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後塗装してください。
- ④使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離（顔料沈降）することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- ⑤押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー（マルチタイルコンクリートプライマーEPO、浸透形Mシーラー）をご使用ください。
- ⑥軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

詳細な内容については安全データシート（SDS）をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中とともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
本来の目的以外に使用しないこと。
指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

■ 対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、

- ⑦過希釈の場合、ハジキ・光沢低下・色味変化などを生じる場合がありますので、所定の希釈率を遵守してください。また当該現場で一度定めた希釈率はなるべく同一にしてください。
- ⑧ハケ塗りや補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色相差が生じることがありますのでご注意ください。
- ⑨合成皮革、ゴムバックン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑性のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- ⑩シーリング面への塗装は極力避けてください。汚染や粘着、フレの原因となります。やむをえず塗装する場合には、ノンブリードタイプのシーリング材を用いることとし、「シーブラ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」をバイonderとして挟むことで不具合を軽減することができます。
- ⑪塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- ⑫汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑬濃彩色の塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類寝具類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。

医師の診察を受けること。

吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。

火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東 北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東信越 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東 京 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
中 部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大 阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中 国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四 国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九 州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

(22年07月15日PPO)カタログNo.656